

令和3年度 各務原市立稲羽中学校 学校だより

稲羽中の風

令和3年8月30日（月）

第Ⅱ期のスタートにあたって

校長 神山 里佳

第Ⅱ期のスタートにあたり、2つのお話をします。一つ目は「夏休みの頑張りを振り返り、第Ⅱ期につなげてほしい」ということです。夏休み中に新しい家庭学習ノートを学校まで取りに来てくれた人が何人かいました。「zoom de meet」の際にも、期末テストに向けての学習ができたという声が多く聞かれました。計画的に学習に取り組めたとう証だと思えます。また、部活動において、上位の試合に出場したり、新チームになって意欲的に練習に取り組んだりする姿も見られました。夕方になって花壇の水やりに来てくれた人もいました。地域の方からは「夏休みだけど、生徒さんはよく挨拶をしてくれる」というお褒めの言葉もいただきました。自分の時間をうまく利用して「やりたいこと」「やらなければならないこと」を考えて実行できた姿だと思えます。これらは、夏休み前にお話した、①自分で立てた目あてや計画にそって学習や生活を送る。②自己調整力を身に付けるという課題を実践できた姿ではないでしょうか。もう一度この夏休みを振り返り、課題を改善しながら、第Ⅱ期の生活や学習を充実させていってください。

二つ目は新型コロナウイルス感染症についてです。まずは今朝、夏休み前と同様に、みなさんと挨拶を交わることができ、大変嬉しかったです。しかし、コロナの感染拡大がとどまることなく、状況を示すグラフも、上への傾きが大きくなり、先週の土曜日からは岐阜県にも「緊急事態宣言」が発出されました。この現状において、医療現場の方や、携わっている全ての人たちは、休みを返上して「みんなの命を守る」ことのために全力を尽くして見えます。ある医師は「ウイルスは日々進化している。でも感染しない方法はみんな知っている。後はどれだけそれをしっかり行えるかどうかだ。これまでの感染対策を変える必要はない。変えなくてはいけないのは、一人一人の感染に対する心構えだ。」と、メッセージを出してみえます。稲羽中も、学校生活とみなさんの安全安心を両立させるために、初心にもどって感染対策をしていきますので、みなさんも協力してください。私達も、いつ、どこで感染するか分からない状況です。感染したり濃厚接触者になったりする可能性は、以前より高まっています。もし、みなさんやその周りの方で、そのような立場になっていたとしても、それを詮索したり、執拗に聞いたり噂話をしたりせず、ゆっくり休んで治してもらえよう温かく見守りましょう。学校としても精一杯の支援をしていきたいと思えます。

夏休みが明け、いきなり予定が変更し、みなさんには迷惑をかけますが、一緒にがんばっていきましょう。

■（お詫び）中体連等の結果は、個人名が多数ありますので省かせていただきます。